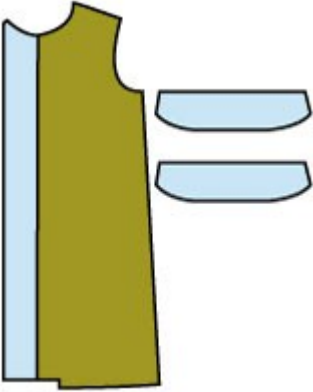
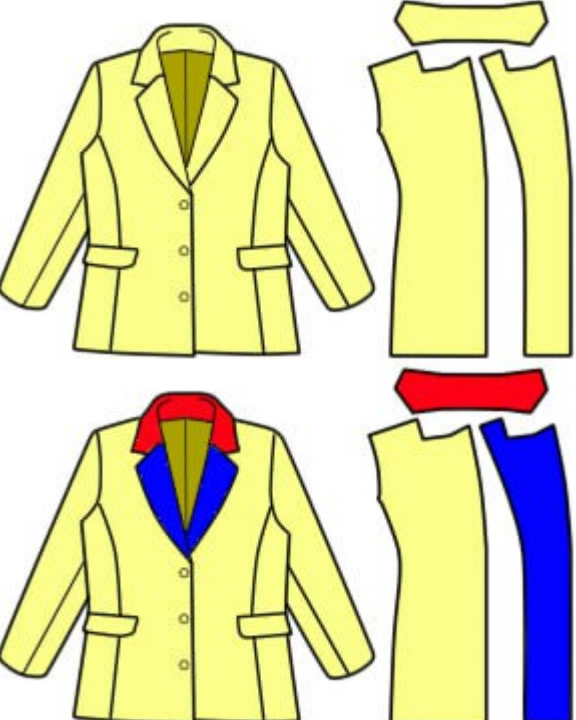
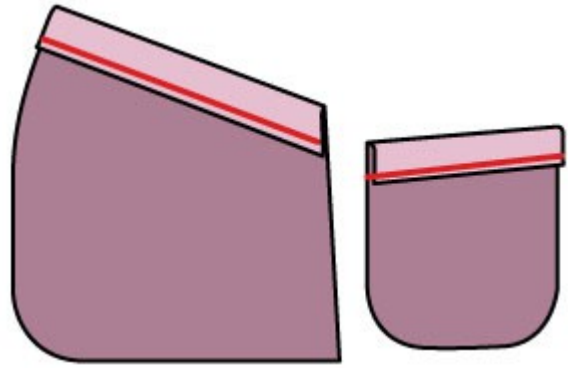
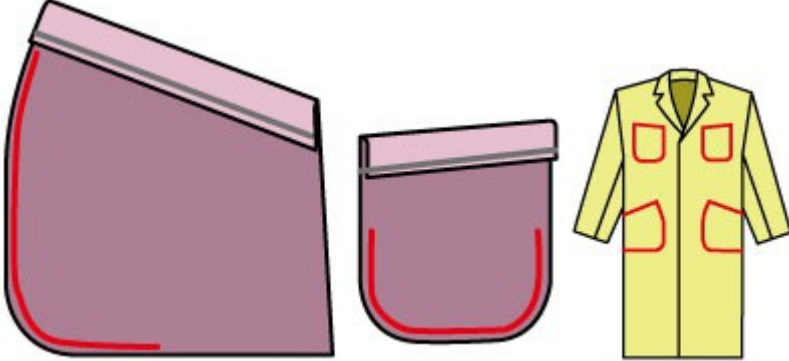
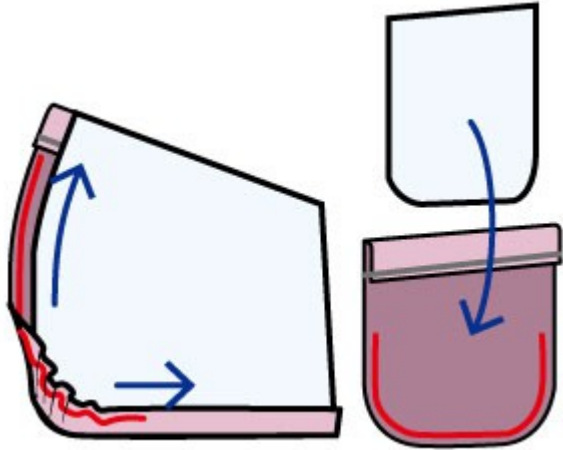


## 白衣の縫い方

	<p>接着芯をはってください。</p> <p>型紙についている縫い代の印を忘れずに写してください。 布の周りをほつれどめしてください。</p> <p>くわしくは縫う前の下準備にまとめているので見てくださいね</p> <p>■ 表 ■ 裏 ■ 接着芯</p>
--	--

	<p>ジャケットのえりで見返しの関係が分からないらしいので色分けしてみました。</p> <p>テーラードジャケットの特徴的なえりは折り返して作られているので、実は青色の部分は見返しなのです。</p> <p>えりや折り返しの部分だけ変えたい場合はえりで見返しの部分だけ色を変えればいいんですよ</p>
---	---

	
<p>ポケットの上側の縫い代を折って1.5 cmのところを縫ってください 手縫いで端から5 mmくらいのところを縫ってください。</p>	



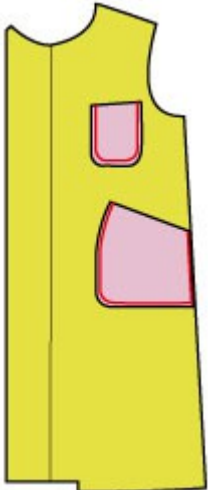
厚紙(お菓子の箱とかでも何でも良いです)をポケットの出来上がりの大きさに切ってください。

ポケットの裏に厚紙を重ね、手縫いした糸を引っ張りながら縫い代を裏へ折ります。

手縫いした糸を引っ張ると、カーブのところがきれいに均等に縮まるのでラインがきれいに仕上がるよ。

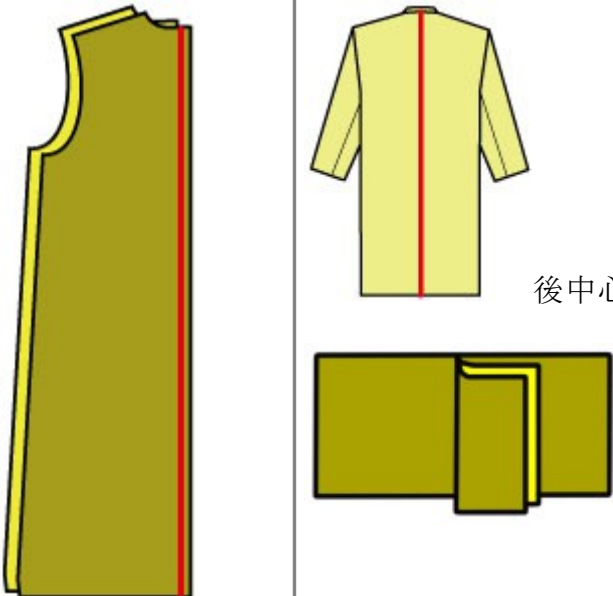
アイロンで折り目をしっかりつけてください。

腰のポケットは片方は脇の中に入るので折らなくていいです。



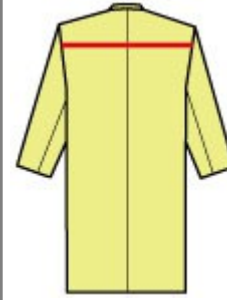
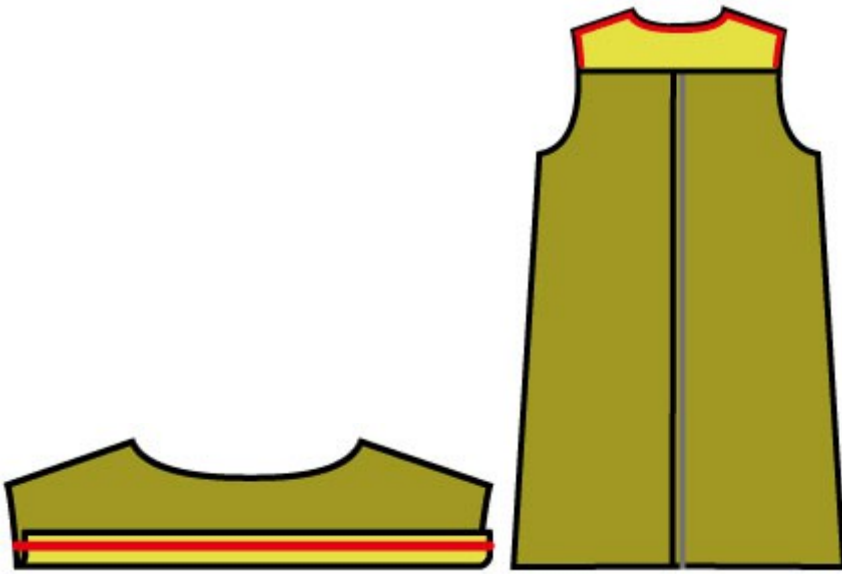
前身頃の上にポケットを重ねてください。

縫い代を裏へ折った状態で端から 5 mm のところを縫ってください。

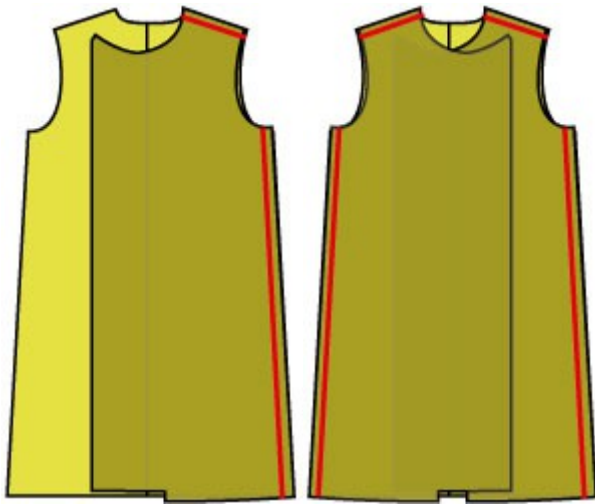


後中心を縫ってください

縫い代はアイロンで片方に折ってください。



後ろ見返しの下の縫い代をアイロンで裏に折って端から5mmのところを縫ってください。



後ろと前の身頃を表同士が内側になるように重ねてください。

肩と脇を縫ってください。

縫い代は後ろ身頃側へ折ってください。





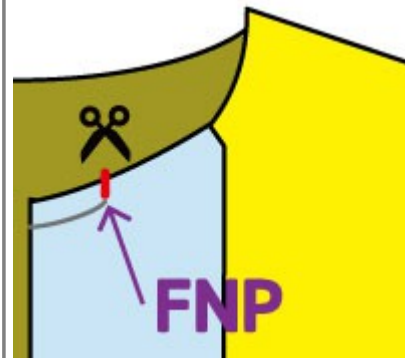
前の見返し部分を裏が見える様に折って下さい。

えりは端からFNP(前中心)まで縫って下さい。

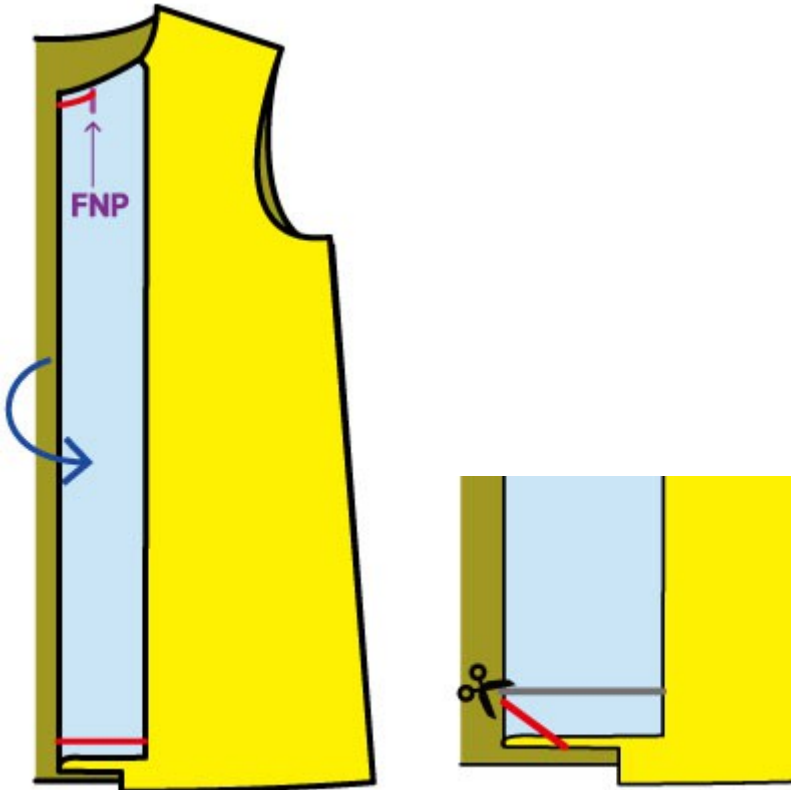
すそも縫って下さい。

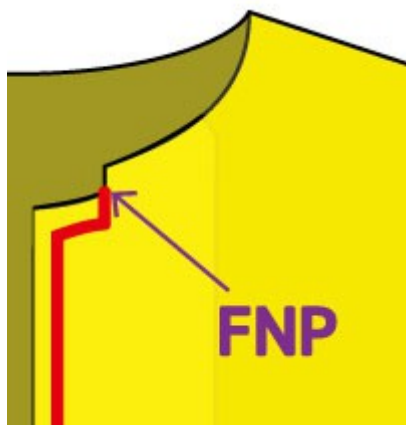
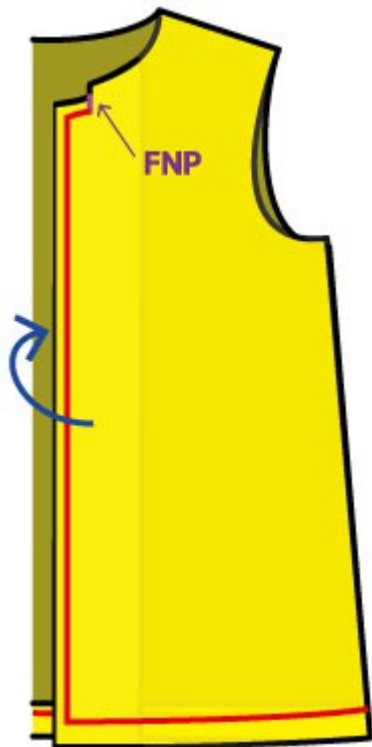
えりくびの先とすその角を切り落として下さい。

これで角をひっくり返したときにきれいにひっくり返しやすくなります。



縫い目を切らないようにFNP(前中心)に切り込みを入れます。



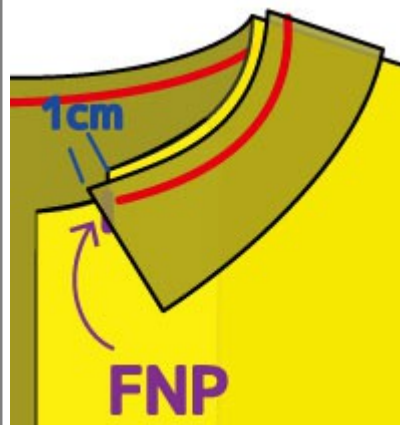


見返しを裏側に折って下さい。

FNPから、中心、すそを縫って下さい。

すそは3 cm折って2.5cmのところを縫って下さい。

ほかは端から0.5cmのところを縫って下さい。



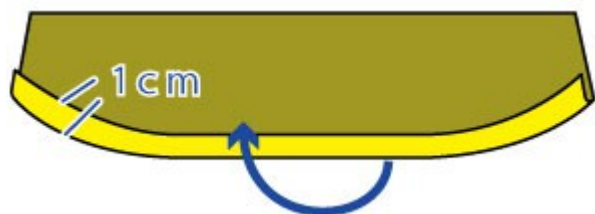
FNPから1cmえりをはみ出すように、えりと身頃の表が内側になるように重ねてください。

身頃とえりの印(FNP、BNP、SNP)をあわせてください。

FNP = Front neck point = 前の首の印  
 SNP = Side neck point = 横の首の印  
 BNP = Back neck point = 後ろの首の印

という意味です。

えりの端から1cmあけてえりと身頃の首を縫って下さい

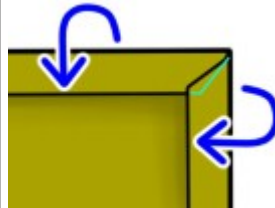
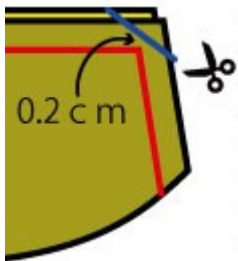


もう一枚のえりの首側の縫い代を裏に折って下さい。



えりを起こしてください。

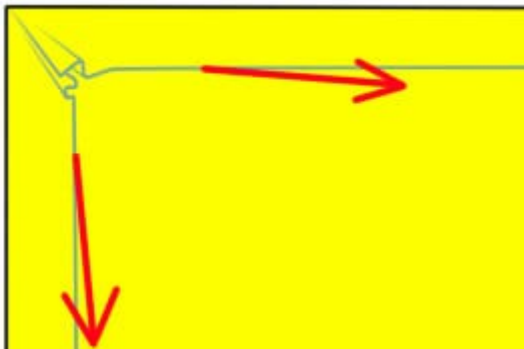
えり同士が表が内側になるように重ねて縫って下さい。



角から0.2 cm離れたところを切り落として下さい。

あまり近くを切るとほつれてきます

縫い代を折りたたんで表側にひっくり返して下さい



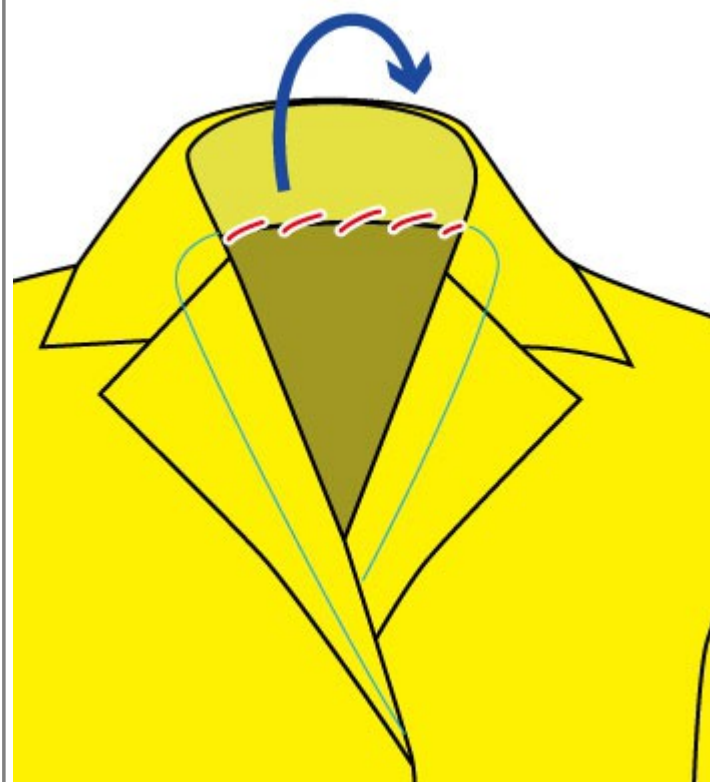
えりの角や前見返しのすそ等表側に返したとききれいに角が出ない場合

中で縫い代がグチャグチャになっている場合が多いので、指を中に入れて、縫い代を角と反対側に軽く引っ張ってあげると中の縫い代が整って、角が出しやすくなります



身頃の首の縫い代とえりの縫い代を、えりの中に入れてください。

端から0.5cmのところを縫ってください。



えりと身頃の首の境目を手縫いで縫って下さい。



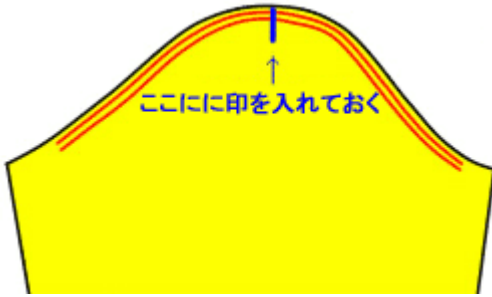
ボタンホールを開けてください。

この時点でボタンホールを開けると、そでが無い分縫いやすいですよ。

ボタンの付け方はミシンによって異なりますのでミシンの説明書をご覧ください。



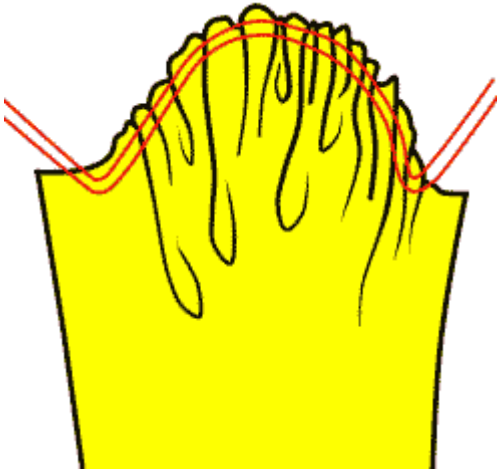
そでやまの拡大図 ↓



そで山にはそでを立体にする為に余裕が入れられています。ここでギャザーを寄せておかなければ、そのままつけるとあまってしまうのです。

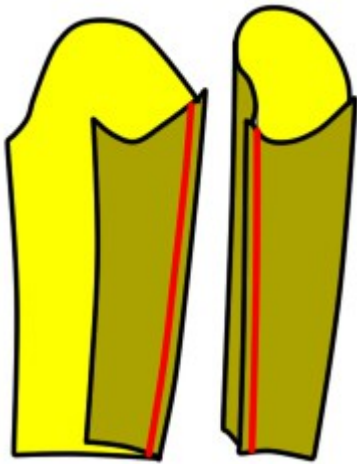
重要！

この時縫い初めと縫い終わりは、布の端から5センチ以上離れたところから縫い始める  
初めと終わりの糸は少し長めに出しておく。



そして裏の方の長く残しておいた糸だけを引っ張りギャザーを寄せます。

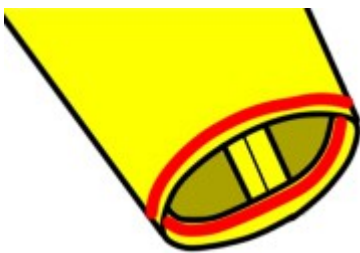
(これを一度覚えておくとスカートやいろいろな事に応用がきくので、是非チャレンジしてみましょう！)



糸調整を元に戻してください。

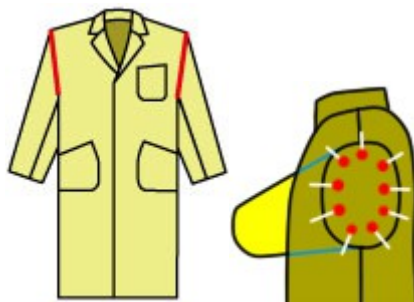
2枚のそでを表側が中になるように重ね(中表という)両脇を縫います。

同じように裏地も縫ってください。アイロンでそで口を出来上がり線で折ってください。



アイロンで縫い代を折り縫ってください。

縫い代より5mm短い幅の所を縫ってください。



←横から見頃(胴部分)は裏返して、  
そででは表にひっくり返してください。

見頃の中にそでを入れてください。

肩と、脇を最初にあわせてまち針でとめてください。  
縫う場所より2~3ミリ横を仕付け糸を使い縫っておくと、ミシンで縫う  
時に針を折る心配がなくていいよ！

しつけ縫いをしたらミシンでそでぐりを縫ってください。